

第1回（次期）北九州市障害者支援計画策定委員会

支援体制整備部会（会議要旨）

日 時	平成23年9月1日（木）10:00～12:00
場 所	北九州市役所本庁舎12階 121会議室
出席委員 （10名）	糸永委員、伊野委員、江上委員、大曲委員、酒井委員 未安委員、高崎委員、原田委員、山田委員 オブザーバー 古川委員
欠席委員 （2名）	井田委員、梅本委員
事 務 局	【保健福祉局】 障害福祉部長、障害福祉課長、地域移行・精神保健福祉担当課長、障害福祉センター所長、精神保健福祉センター所長、教育委員会特別支援教育課長、子ども家庭局子ども家庭政策課長
次 第	1 開会 2 議事 （1）（次期）北九州市障害者支援計画の基本的な施策について 3 閉会

会 議 経 過	
発言者	発 言 要 旨
事務局	<p>【開会】</p> <p>ただ今から、第1回(次期)北九州市障害者支援計画策定委員会支援体制整備部会を開催する。</p> <p>本部会では、より市民の皆様の声を反映するため、市政モニターにもご参加いただいている。</p> <p>本部会の公開について、この部会も策定委員会と同様に基本的に公開とさせていただきます。会議終了後は、会議録を作成し、市のホームページに掲載し、市民の皆様に情報提供させていただくのでご協力をお願いします。</p> <p>なお、本日は井田委員、梅本委員が所用のため欠席である。</p> <p>配付資料確認</p> <p>この後の進行は、部会長をお願いします。</p>
部会長	<p>第1回目の支援体制整備部会ということで、委員の皆様にご自己紹介をお願いします。</p> <p>委員自己紹介</p> <p>【議事】</p> <p>それでは、議事に沿って進めてまいりますので、委員の皆様にはご協力をお願いします。</p> <p>【(次期)北九州市障害者支援計画の基本的な施策について】</p> <p>議事2-(1)の(次期)北九州市障害者支援計画の基本的な施策について事務局から説明をお願いします。</p>
障害福祉課長	<p>説明に入らせていただく前に報告する。第1点目に、策定委員会について、2回開催し、方向性まで議論いただいた。また、8月16日には、フォローアップ委員会を開催し、現計画の総括をさせていただいた。総括の結果については、次回の策定委員会、もしくは部会でご報告をさせていただこうと思う。</p> <p>2点目に、8月23日に障害者スポーツセンターの見学会を開催し17名の委員の皆様にご参画いただいた。社会参加の促進、バリアフリーの取り組みを見ていただくことで、多くの委員の皆様にご参加いただいたことをお礼申し上げます。このスポーツセンターは、一般の市民の方と障害のある方の触れ合う場という意味合いを持っており、3階建てのバリアフリー工事をされた施設</p>

	<p>のため、大規模災害が起きたときの避難場所としても、今後活用していけるのではないかと考えている。</p> <p style="text-align: center;">資料 1 に基づき事務局説明</p>
部会長	<p>ただ今事務局から説明があったが、委員の皆様からご質問、ご意見はないか。</p>
委員	<p>北九州市において、精神障害者の人数はこの近年でどういう具合の推移になっているのかを、次回でよいので数字やグラフで提示していただきたい。</p> <p>次に、北九州市では独自に交通費の半額の割引を実施できると考えている。</p> <p>これは県ができないからできないというのではなくて、北九州市独自で交通費の割引を実施していただきたい。通所施設に通所している精神障害者たちに対しては、いくらか補助が出ると聞いた。しかし、精神障害者は在宅にいる人は多くいるはずで、それが実情であると感じている。</p> <p>精神障害者が、国の施策で入院から退院を促進していく中で、そのような人たちがどこかに行きたいといっても、非常に交通費がかかるから外に出ないということになる。</p>
障害福祉課長	<p>精神障害者の推移について、手帳所持者の方は、平成 17 年度以降平成 22 年度までで、毎年 10% 程度ずつ伸びている。</p> <p>次に、移動支援について、重度障害者の方についてはタクシーの初乗り運賃の助成ということで、月 4 枚のチケットの助成を行っている。公共交通機関について、JR や西鉄バスなど、北九州市でも市営バス、渡船、モノレールなどについても全額もしくは半額の減免等を行っている。それから、通所、施設に入っている方については、ひと月 5,000 円を上限とした交通費の補助をしている。交通事業者は、身体・知的障害者について半額の制度を作っているが、精神障害者の方についてはその対象となっておらず、なかなか市だけでは解決できない問題が多い。</p>
委員	<p>私が知りたいのは、手帳所持者ではなくて、北九州市が把握している精神障害者の数がどういう形で推移しているかということである。</p> <p>それから交通費について、鹿児島市では市営、民間も含めて、平成 10 年から鹿児島市内、全額無料である。北九州市が他市ができないからといってしないというのではなく、北九州市の独自の部分としてできると判断している。</p>
障害福祉	<p>精神障害のある方の公共交通機関の割引について、働きかけは非常に重要</p>

<p>課長</p>	<p>であると感じているため、国、交通事業者への働きかけは引き続き行っていききたいと考えている。また、これについては計画にも明記をしていきたい。</p> <p>それから、精神障害者の数が手帳以外でいうと、精神病院に通っている方などになってくることから、どういう数字になるか把握していないため、持ち帰って調べたい。</p>
<p>部会長</p>	<p>手帳以外の把握は難しいところだと思う。今度、実態調査をはじめ若干はするのか。</p>
<p>障害福祉課長</p>	<p>今回の実態調査においては精神障害者の方のニーズは把握できているが、手帳を持っていない精神障害のある方のニーズは、この実態調査の中からは分からない。</p>
<p>委員</p>	<p>難病の位置づけについて、難病は、発達障害、難病患者等というところで挙げられているが、並列という位置づけでよいのか。発達障害の中に高次脳機能障害という部分では関連性があると思う。しかし、難病については内容が違う部分があると思う。その他の部分で、高次脳機能障害と難病を挙げられているのかを聞きたい。</p> <p>また、制度の谷間で苦しんでいる方をできる限りなくしたいのが大きな目標でもあるので、難病患者を別枠にしてもいいくらいの問題ではないかと個人的には感じている。そのため位置づけを明確に説明していただきたい。</p> <p>次に、基幹相談支援センターが計画にある。その連携部署として、難病相談支援センターが九州大学に設置されている。その中で、難病患者の就労支援や具体的な生活支援も行っているため、難病相談支援センターも巻き込んでいったほうがいいのではないかと感じた。</p>
<p>障害福祉課長</p>	<p>ご質問のあった難病の取り扱いについて、従来の3障害にあわせて、今、一番問題になっていることのひとつとして、制度間の谷間にある方をどうするかという視点である。計画には発達障害者等と記載しているが、発達障害と書いているのは、発達障害のある方、等というのは、発達障害を含めた制度の谷間にある難病、高次脳機能障害の方を含めた表記となっている。</p> <p>それから、基幹相談センターの連絡先について、九州大学の連絡先は把握していなかったため、調べて、ご意見をいただき、追加をさせていただければと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>「触法障害者への支援」があるが、生活の手段がないので出所後すぐにまた窃盗を繰り返す。出所後の支援も考えてほしい。</p>
<p>障害福祉</p>	<p>知的障害があるため、普通の社会生活の中では生活できないということ</p>

<p>課長</p>	<p>で、100 円の窃盗であっても懲役として刑務所で暮らしていくというような実態がある。現在の取り組みとしては、地域生活定着支援センターで相談を聞いて、療育手帳をとって、年金、施設の入所に結び付けていくということで、約 30 名が支援に結びついたという報告があった。</p> <p>計画に記載したのは、NPO 法人と連携して、触法障害者の方が刑務所に入らず、福祉施設や療育手帳の取得、生活訓練等についても支援していく方向性を記載している。</p>
<p>委員</p>	<p>計画の中に、特別支援教育のコーディネーターや特別支援学級の教職員を対象に研修を行うということがあったり、特別支援学校や特別支援学級に教員の専門性を図るために、外部の専門家を入れるというようなことがあるが、発達障害のある子どもたちの多くは普通学級にいる。そのため、この整備に取り組みないと難しいと思う。また、普通学級で困っている先生が多いのが実情なので、整備をお願いしたい。</p>
<p>特別支援 教育課長</p>	<p>現在の中学校の通常学級の先生方にも対象の研修等も行っている。今後、通級については足りないと認識している。今後は一層その研修をして取り組んでいこうと考えているので、それについては、障害福祉課にも挙げさせていただきたいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>今からいろいろと検討されていくと思うが、財政の問題をどういう風にしていくのが重要と思う。</p> <p>障がい者制度改革推進会議総合福祉部会が障害者の予算を倍増するという提言を出している。そのような事にも関連して策定委員会においても、国の制度をどうするのかということも検討課題になると思う。</p> <p>それから就労支援等について、福祉と社会的支援の谷間にある障害者のために社会的雇用制度というのを導入しているというのがあった。そういうことで、障害者の生活を支えていこうというようなことも提案されていた。</p>
<p>事務局</p>	<p>財政的な裏づけについてであるが、北九州市の財政は非常に厳しいので、限られた予算の中で、より優先順位の高い部分から計画に反映していくことになる。</p> <p>それから、総合福祉部会で予算を倍増するという提言があったことは承知している。国において、次期総合福祉計画に向けての議論が行われているので、今後ともその動向については情報収集しながら、支援計画についても必要な変更などを行っていききたい。</p> <p>また、就労支援については都市基盤・自立生活支援部会において議論を行っており、今後福祉的就労の充実を図っていくという方向性も示している。</p>

部会長	時間も少し過ぎたので、今回の部会は終了したい。ご意見については意見シートにご記入の上提出をお願いします。 事務局から何かあればお願いします。
事務局	本日の議題についてご意見があれば、来週の月曜日までにEメールにて返信いただくようお願いします。
部会長	それでは、本日の「(次期)北九州市障害者支援計画策定委員会支援体制整備部会」を終了する。